

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, エネルギー関連事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総計画の施策名, 0603 時代に合った自治体運営, 政策名, 06 みんなで築く自治のまちづくり, 施策名, 03 時代に合った自治体運営, 手段名, 05 ⑥広域連携の推進, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細, 一般会計, 企画事業, 事業期間, 単年度繰返し (年度~), 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on the association's purpose, content, and structure.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for seminar counts and participant numbers over a 6-year period.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (expenses) for 02, 03, 04, 05, and 06 years. Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, and 事業費計(A).

03年度事業費 実績 (千円)

04年度事業費 予算 (千円)

Table comparing 03 fiscal year actual expenses (8) and 04 fiscal year budget expenses (8) across various categories, including 18 負担金補助及び交付金.

事務事業名	エネルギー関連事業（原子力協議会参画事業）	事務事業No.	60305000278	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・（社）茨城原子力協議会は、昭和54年に設立された。県内全市町村が会員として参加している。 ・地球温暖化問題により、CO2の削減などが喫緊の課題となっている。 ・太陽光発電や風力発電・バイオマス発電・エコカー等に関心が高まっている。 ・福島原発の事故により、原子力の安全性や除染に関する関心が高まっている。 					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
意見や要望はない。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 総合計画後期基本計画「生活環境の保全」の基本方針に新エネルギーの利用が示されている。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である エネルギーと生活環境は密接な関わりがあるため、公共関与は妥当である。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 協議会の運営を大きく変えることは困難である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県内自治体はすべて会員になっている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし	
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 協議会に参加している以上は負担金を支払わなければならないので削減の余地はない。必要最小限の人件費となっている。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担を求める性格の事業ではない。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	県内全市町村と共に放射線や原子力、新エネルギーに関する情報共有等を行い、生活環境の保全に寄与した。															
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		成果優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果	向上				維持		○		低下			
成果	向上															
	維持		○													
	低下															
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>